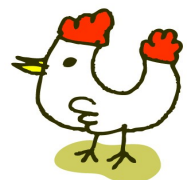


バリ通信



2503号

バリ通信は
過去に

(有)FORZA

愛媛日産自動車(株) 勤務時代

公益社団法人 今治青年会議所

今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

アキレス腱には神経が通っていない!?

サッカー歴43年、53歳にして初めて大きな怪我をしてしまいました。(サッカー・シニアリーグの試合中)

正確にはアキレス腱自体は切れていないのですが、人生初のMRI検査をしたところアキレス腱とふくらはぎの筋肉の継ぎ目が切れたみたいで、人生初の松葉杖生活を1ヶ月ほど送りまして、1ヶ月半ほど経過した2月下旬はヨチヨチ歩きをしております。

切れた瞬間は誰かに後ろから思いっきり蹴られたと思うくらいの衝撃で『ブチッ』という音と共に倒れて痛かったのですが、どうもアキレス腱自体には神経が通っていないらしく、筋肉も切れているはずなのに何故かジツとしていれば然程痛くはなく『ホンマに切れるんかいな?』とも思いましたが、最初の2週間くらいは足が1.5倍くらいにむくんでいましたし、足に力を入れると痛くて歩けないし、右足なので運転が出来ないので不便で仕方がないし、毎日事務所まで送迎をしてくれた妻には益々頭が上がりなかつたですねえ(汗) まあでも膝や腰と比べれば可動域が多く、アキレス腱自体は切れていないから足首も動くので、この程度で済んでまだ良かったと自分に言い聞かせています(苦笑)

運転出来ない期間、様々なご協力を頂いた方には感謝を、予定を変更して頂いたりご迷惑をお掛けした方にはお詫びを、改めて申し上げます。*本当に私は人に恵まれているなと感じています。

*先回りおせっかい安全機能が凄い!

衝突軽減ブレーキは皆さん認知していると思いますが、今は更に一歩進んだ安全機能がある事をご存じでしょうか??

トヨタでいえば『プロアクティブドライビングアシスト』と呼ばれる安全機能で、さすがにメーカーの表記で『おせっかい』とは書いていませんが、リスクを先読みして運転操作をサポートしてくれるのです!

衝突軽減ブレーキはブレーキによる減速を行っていない状態で車が『このままなら衝突する!』と判断したら警告表示した後、緊急ブレーキが掛かるのですが、そのような事態になる前に『さりげなくサポート』してくれるのです。

例えば、先行車が減速しているのに気が付かず接近していたらスーッと自然な感じでブレーキを踏んだように減速をしてくれていますし、信号のある交差点進入時にアクセル状態やウインカー操作に応じてあらかじめ減速を支援、横断歩道を渡る歩行者がいるのに減速していなければ減速を開始、カーブの手前で速度が出過ぎている場合も減速を開始するなど、優しい教習所の先生が教えてくれているかのように『おせっかい』を焼いてくれるので、『こんななんあったらウツカリ事故は激減するやん!』と思うし、おせっかいを焼かれる前に自分でもっと安全に走ってやるぜ!とも思えるので、さらに安全運転になるかもしれませんね!

勿論、そんなおせっかい機能なんぞ不要！っと思う方はOFFにも出来ませんが、このところ『うっかりミスが増えたから心配』と感じている方は是非とも欲しい機能ですよ！

『完全自動運転ですよ』となったとしても、恐ろしくて車に任せっぱなしにはなかなか出来ないと思いますし、この『おせっかい機能』なら最後は運転手の判断でブレーキを踏む必要があるから頭の固いお役人さんも許可が出たのでしょいうね。

但し、ここまでのおせっかい機能は今のところトヨタにしかなさそうですね、もっとアピールした良いのと思っちゃいますが、コロナ明けでもずっとバックオーダーを大量に抱えていて、売りたいくても受注受け付け不可だったり納期が長かったりで、これ以上売れずぎても困るのでしょうか？（笑）

ちなみに最近の車には衝突軽減ブレーキ以外に・前後誤発進抑制機能・低速時ブレーキサポート（低速で前進・後進の際に死角にいる人や車に反応）・車線逸脱警報と抑制機能・車線維持支援機能・ふらつき警報機能・標識認識機能・オートハイビーム・先行車発進お知らせ機能・側後方確認支援など、様々な安全機能が備わっており、10年以上前にスバルからアイサイト（衝突軽減ブレーキ）が出た時とは比べ物にならない程安全になっていますね！

トヨタのプロアクティブ
ドライビングアシストの
詳細はこちらからご覧ください。



一度は調べた方が良いかも？

無料で使えるグーグルダークウェブレポート

ダークウェブという言葉聞いたことあるでしょうか？

インターネット上に存在する通常の方法ではアクセスすることが出来ない闇サイトと思って貰えば良いのですが、グーグルやフーとかの検索エンジンの検索ではヒットしなくて、ある特殊なソフトを導入することによりアクセスが可能となるらしく、ダークウェブでは漏洩した個人情報やカード情報、違法な薬物や武器、偽造書類などが売買されているらしいです。

海外を起点としたトリックウ型の犯罪は、こういった所から情報を仕入れて強盗や振り込め詐欺などのターゲットを決めていると言われています。

自分なんか関係ないや。と思わずに一度個人情報がこういったサイトに掲載されていないか？確認しておくことは重要だと考えています。確認はグーグルのダークウェブレポートで確認するのですが、昨年7月頃までは有料だったのですが現在無料となったらしいので私もやってみたのですが、幸い私のデータは漏れていない形跡はなかったようです。

確認方法はOS（*オペレーティングシステムの略。スマホを動かすための基本ソフト）のバージョンで違うのですが、大雑把にはグーグルアカウントを持っている場合、グーグルマップなどを見ているときに右上に出てくるご自身のアカウントのアイコンをタップ↓『アカウントの管理』↓『ダークウェブレポート』↓『モニタリングを開始』という流れです。流れが違う場合でも頑張って『ダークウェブレポート』に辿り着いてください、そして個人情報漏洩していると思われるサイトへのアクセス情報があれば、速やかにパスワードの変更をお勧め致します。